OLYMPUS

PT-046

日本語

ENGLISH

FRANÇAIS

DEUTSCH

ESPAÑOL

中文

한 국 어

Jp **取扱説明書　防水プロテクター**
デジタルカメラ FE-3010/X-895用

En **Instruction Manual　Underwater Case**
For the digital camera FE-3010/X-895

Fr **Mode d’emploi　Caisson étanche**
Pour l’appareil photo numérique FE-3010/X-895

De **Bedienungsanleitung　Unterwassergehäuse**
Für die Digitalkamera FE-3010/X-895

Sp **Manual de Instrucciones　Caja estanca**
Para la cámara digital FE-3010/X-895

Cs **使用说明书　防水机壳**
数码照相机 FE-3010/X-895

Kr **취급설명서　방수 케이스**
디지털 카메라 FE-3010/X-895

OLYMPUS IMAGING CORP.

Jp

■ このたびは、防水プロテクター PT-046（以下プロテクター）をお買上げいただき、ありがとうございます。
■ この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、この説明書はお読みになったあと、必ず保管してください。
■ 誤った使い方をされると水漏れにより中のカメラが破損し、修理不能になる場合があります。
■ ご使用前には、この説明書にしたがって必ず事前チェックを実施してください。

はじめに

- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- 本製品の不適切な使用により、万一、損害が発生した場合、逸失利益に関し、または、第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用の前に必ずお読みください

このプロテクターは、水深40m以内の水中で使用するよう設計された精密機械です。取り扱いには十分ご注意ください。

- プロテクターのご使用前の取り扱い方法と事前チェック、メンテナンス、ご使用後の保管方法についてはこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご利用ください。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。また、水没による内部機材の損傷、記憶内容や撮影に要した諸費用などの保証はいたしかねます。
- 使用時の事故（人身・物損）の補償はいたしかねます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

① 本製品を乳児、幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生の可能性があります。
- 高いところから身体の上に落下し、けがをする。
- 開閉部に身体の一部をはさみけがをする。
- 小さな部品、O リング、シリコングリス、シリカゲルを飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能なほどの障害を起こす。

② 本製品に装填されるデジタルカメラに電池を入れたまま保管しないでください。電池を入れたまま保管すると、液漏れや火災の原因となることがあります。

③ 万一、本製品にカメラを装填した状態で水漏れがあった場合は、カメラに装填された電池を速やかに抜いてください。水素ガスの発生による燃焼・爆発の可能性があります。

④ 本製品は樹脂製です。岩などの固いものに強くぶつけると破損し、けがをする可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。

Jp

⚠ 注意

① 本製品の分解、改造はしないでください。水漏れや不具合発生の原因となることがあります。当社指定者以外の者による修理、分解、改造その他の理由により生じた画像データの消失による損害及び逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねます。

② 以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障、破損、火災、内部の曇り、水漏れの原因となります。絶対に避けてください。
- 直射日光下や自動車の中など高温になるような場所
- 火気のある場所
- 水深40mより深い水中
- 振動のある場所
- 高温多湿や温度変化の激しい場所
- 揮発性物質のある場所

③ 砂、ほこり、塵の多いところで開閉すると防水性能が損なわれ水漏れの原因となることがあります。絶対に避けてください。

④ 本製品は装填されたカメラへの衝撃をやわらげるケースではありません。本製品にデジタルカメラを装填した状態で衝撃を与えたり、重いものを載せたりするとデジタルカメラが故障する場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。

⑤ 洗浄・防錆・防曇・補修等の目的で、下記の薬品類を使わないでください。プロテクターに直接、あるいは、間接的（薬剤が気化した状態）に使用した場合、高圧下でのひび割れなどの原因となります。

使用できない薬品類	説明
揮発性の有機溶剤、化学洗剤	プロテクターをアルコール・ガソリン・シンナーなどの揮発性有機溶剤、または化学洗剤等で洗浄しないでください。洗浄には真水、または、ぬるま湯を使用してください。
防錆剤	防錆剤を使用しないでください。金属部分はステンレス及び真鍮を使用しています。洗浄には、真水を使用してください。
市販防曇剤	市販の防曇剤を使用しないでください。必ず指定の防曇剤シリカゲルを使用してください。
指定外のシリコングリス	シリコン O リングに指定品以外のシリコングリスを使用しないでください。O リングの表面が変質して、水漏れの原因となります。
接着剤	補修などの目的で接着剤を使用しないでください。補修が必要な場合は、販売店または弊社サービスステーションにご相談ください。

⑥ プロテクターをポケットに入れたまま、あるいは、持ったまま水中に勢いよく飛び込んだ場合や船上から海へ放り投げる等、乱暴に扱うと水漏れする場合があります。手渡しをする等、取り扱いには十分ご注意ください。
⑦ 万一、水漏れ等で内部のカメラが濡れた場合は直ちにカメラの水分を拭き取り乾いてから、動作確認をしてください。
⑧ 飛行機で移動する場合は、O リングを取りはずしてください。気圧の関係でプロテクターが開かなくなることがあります。
⑨ 本製品に装填されるデジタルカメラを安全にお使いいただくために、デジタルカメラの取扱説明書をよくお読みください。
⑩ 本製品を密閉する際は O リング及びその接触面に異物を挟み込まないように十分ご注意ください。

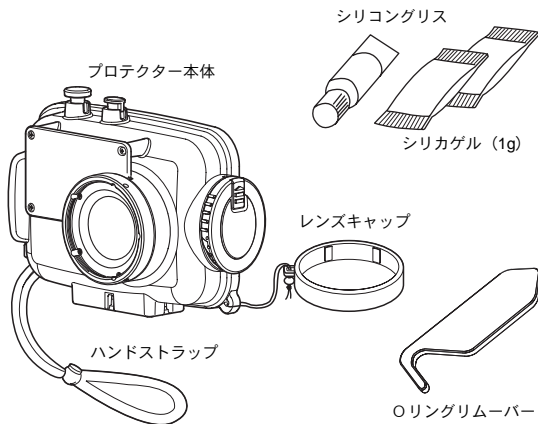
もくじ

Jp

Jp

1. 準備をしましょう

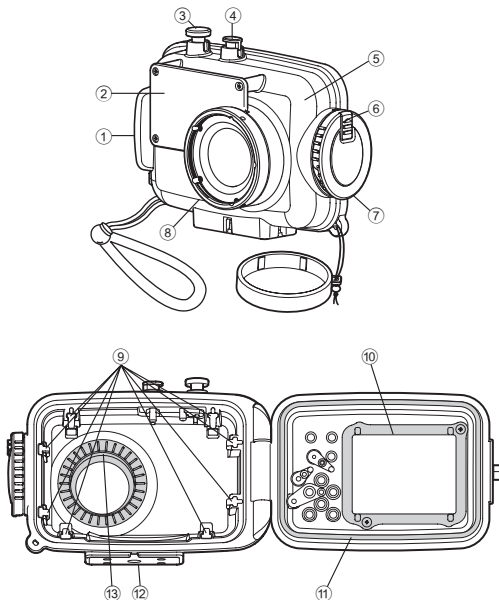
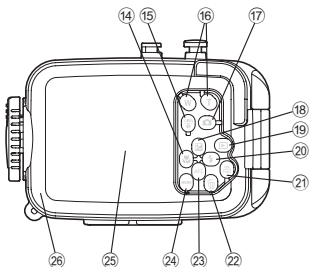
箱の中を確認します

箱の中の付属品はすべてそろっていますか。
万一、付属品が不足していたり、破損している場合はお買上げの販売店までご連絡ください。

（O リングが装着されていることを確認してください）

OLYMPUS
PT-046
日本語
ENGLISH
FRANÇAIS
DEUTSCH
ESPAÑOL
中文
한국어
Jp 取扱説明書　防水プロテクター
デジタルカメラ FE-3010/X-895用
En Instruction Manual　Underwater Case
For the digital camera FE-3010/X-895
Fr Mode d'emploi　Caisson étanche
Pour l'appareil photo numérique FE-3010/X-895
De Bedienungsanleitung　Unterwassergehäuse
Für die Digitalkamera FE-3010/X-895
Sp Manual de Instrucciones　Caja estanca
Para la cámara digital FE-3010/X-895
Cs 使用说明书　防水机壳
Kr 취급설명서　방수 케이스
디지털 카메라 FE-3010/X-895
OLYMPUS IMAGING CORP.

取扱説明書（本書）

オリンパス代理店リスト

各部名称

① パームグリップ
② 拡散板
※③ シャッターボタン
※④ ON/OFFボタン
⑤ 前蓋
⑥ スライドロック
⑦ 開閉ダイヤル
⑧ レンズリング
⑨ 装填ガイドレール
⑩ 液晶インナーフード
⑪ Oリング
⑫ 三脚座
⑬ 遮光フード

※⑭ ボタン／十字ボタン
※⑮ DISP./ボタン
※⑯ ズームボタン
※⑰ ボタン
※⑱ ボタン／十字ボタン
※⑲ ボタン
※⑳ ボタン／十字ボタン
※㉑ OK/FUNCボタン
※㉒ ボタン

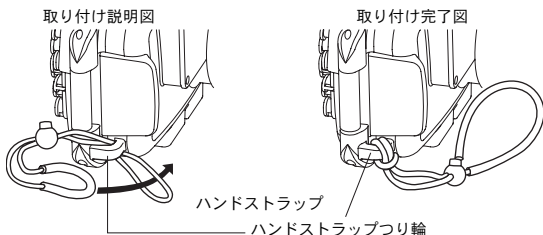
※㉓ AFL (注1)／十字ボタン
（注1）水中ワイド1または水中マクロモードでの撮影中は、十字ボタン下はAFロックボタンとして機能します。

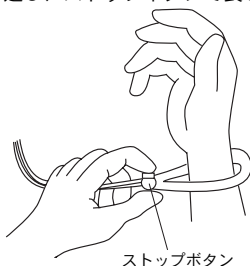
※㉔ MENUボタン
㉕ 液晶モニタ窓
㉖ 後蓋

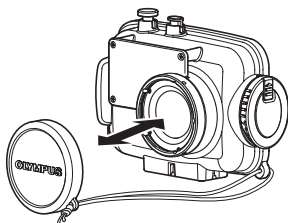
メモ：
※印のプロテクター操作部はデジタルカメラの各操作部に対応しています。プロテクター操作部を操作することによってデジタルカメラの対応する機能が動作します。詳しい機能の内容については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

付属品の使い方

ストラップの取り付け方

プロテクター本体にストラップを取り付けましょう。

ストラップの使い方

ストラップに手首を通し、ストップボタンで長さを調整します。

レンズキャップの取り付け方、取りはずし方

図のようにレンズリングにレンズキャップをはめ込んで取り付けます。撮影前にレンズキャップを取りはずしてください。

2. プロテクターの事前チェックをしましょう

Jp

使用前の事前チェック

本プロテクターは、製造工程での部品の品質管理および組立工程での各機能検査などを厳重に実施しています。さらにすべての製品は高水圧試験機により水圧試験を実施し、仕様通りの性能が守られているか検査を行い合格したものです。
しかしながら、持ち運びや、保管の状態、メンテナンスの状況等何らかの原因で防水機能にダメージを受ける場合があります。
ご使用前には、必ず事前チェックを実施してください。

事前チェック

① デジタルカメラをプロテクターに装填する前に、空の状態で水漏れの有無を確認してください。
ご使用になる水深に沈めて確認する方法が一番適切ですが、この方法で確認できない場合は、「水漏れテスト」（P.18）を参考にテストしてください。

② 水漏れ事故は、主に以下の原因で起こります。
- O リングの取り付け忘れ
- O リングの一部または全部が所定の溝からはずれていた
- O リングの傷やヒビ、または変質・変形
- O リングや O リング溝、前蓋部 O リング接触面への砂/繊維くず、髪の毛など異物の付着
- 前蓋部O リング接触面やO リング溝内の傷
- プロテクターを閉じる際の付属ストラップやシリカゲルの挟み込み

テストは上記の原因を取り除いて行うようにしてください。

⚠ **注意**：
万一、正常な取り扱いで水漏れが確認された場合はご使用を中止し、お買上げの販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。

3. デジタルカメラを装填しましょう

Jp

デジタルカメラをチェックします

プロテクターに装填する前にデジタルカメラをチェックします。

1. 電池の確認

水中撮影ではフラッシュを使用した撮影が多くなります。
ダイビングの前に、電池残量が十分あることを確認してください。

2. 撮影可能枚数の確認

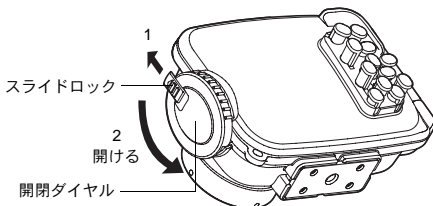
記録メディアの撮影可能枚数が十分にあることを確認してください。

3. デジタルカメラのストラップをはずす

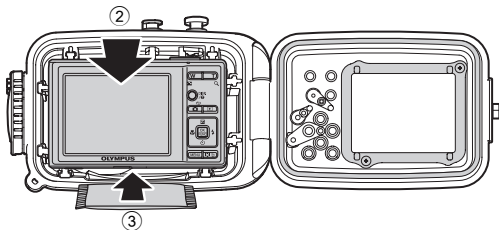
ストラップをはずさずにデジタルカメラを装填した場合プロテクター開閉部にストラップを挟み込み、水漏れの原因となります。

プロテクターを開けます

Jp

① スライドロックを矢印の方向（図の1）にスライドしながら、開閉ダイヤルを反時計回り（図の2）にまわします。
② 開閉ダイヤルの回転が止まる位置まで回します。
③ プロテクターの後蓋を静かに開きます。

⚠ **注意**：
開閉ダイヤルに無理な力を加えて回さないでください。破損する場合があります。

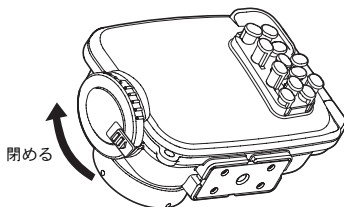
デジタルカメラを装填します

① デジタルカメラの電源がOFFになっていることを確認します。
② デジタルカメラを静かに装填します。
③ カメラ底面とプロテクターの間にシリカゲルを入れます。
シリカゲルは結露による曇りを抑える乾燥剤です。

⚠ 注意：
- プロテクター密閉時にシリカゲルを挟み込むと、水漏れの原因になります。
- 一度使用したシリカゲルは吸湿性能が衰えています。シリカゲルはプロテクター開閉時に毎回交換することをおすすめします。

装填状態のチェックをします

プロテクターを密閉する前に、以下の通り各部のチェックをします。
- デジタルカメラは正しく装填されているか。
- シリカゲルは指定された位置に奥まで挿入されているか。
- プロテクター開口部のＯリングは正常に装着されているか。
- Ｏリングと前蓋部のＯリング接触面にゴミなどの異物が付着していないか。
- 防水機能のメンテナンスは行ったか。(メンテナンスはP.23をご覧ください。)

プロテクターを密閉します

① プロテクターの後蓋を静かに閉じます。
② 開閉ダイヤルを時計方向に回します。
- 180度回すとプロテクターが密閉されます。

⚠注意：
- 開閉ダイヤルを十分に回していない場合は、プロテクターが密閉されずに水漏れするおそれがありますので、ご注意ください。
- レンズキャップのストラップを挟み込まないようにプロテクターの後蓋を閉じてください。挟み込まれた場合は水漏れの原因となります。

装填後の動作チェック

プロテクター密閉後、カメラが正しく機能するか動作チェックをします。
① プロテクターのON/OFFボタンを操作し、カメラの電源がON/OFFできるか。
② プロテクターの各種操作ボタンを操作して、カメラが機能するか。
③ プロテクターのシャッターボタンを操作し、カメラのシャッターボタンを操作できるか。

最終チェックをします

目視検査

プロテクターを密閉後、プロテクターの前蓋、後蓋の密閉部分の周囲を外側から見て、O リングのよじれやはずれ、異物の挟み込みが無いことを確認してください。また、本体に割れ、ヒビが無いことを確認してください。

⚠ **注意**：
髪の毛や繊維くず等細かいものは目立ちませんが水漏れの原因となります。また、本体の割れ、ヒビには特にご注意ください。

Jp

水漏れテスト

ここではカメラ装填後の最終水漏れテストをご紹介します。必ず行いましょう。水槽またはバスタブなどで簡単に行えます。所用時間 約5分

	水漏れテスト	説明画像	ちょっとヒントです
1	ゆっくりと水の中に入れていきます。		プロテクターは透明なので、水滴が入っても簡単に確認できます。
2	最初は 3 秒だけ水につけてみます。		O リングにトラブルがあれば 3 秒だけでも浸水してきます。蓋の間から気泡が出てきませんか？ よくチェックしてください。
3	内部に水が入っていないかチェックします。		水から引き上げてみてプロテクターの中に水が漏れていないか確認します。
4	次は30秒水につけてチェックします。		気泡が出てこないか良く確認してください。 水中の操作はまだしません。
5	内部に水が入っていないかチェックします。		水から引き上げて中に水が漏れていないか確認します。 念には念を入れてよく確認してください。
6	次は 3 分水につけてチェックします。		気泡が出てこないか良く確認してください。 すべてのボタン、レバー、ダイヤル類を操作して気泡が出てこないか確認してください。 ここで水が入らなければ大丈夫。
7	これが最後のチェックです。シリカゲルが濡れてませんか？		これが大切です。 シリカゲルは濡れてませんか？ よく確認してください。
8	これで安心。		これで安心です。

4. 水中での撮影方法

水中撮影シーンの種類

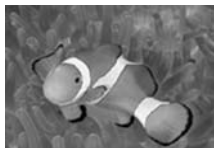
1水中ワイド1

水中で魚群など広範囲の景色を撮るのに最適です。背景の青がより鮮やかに見えるように撮影します。

2水中ワイド2

イルカやマンタなどの動きの速い大型の水中被写体を撮影するのに最適です。
多くのイルカウォッチングポイントでは、イルカを驚かせないためフラッシュ撮影が禁止されています。これを考慮し、フラッシュ設定はOFFの設定になっていますが、マンタ等の撮影時にフラッシュが必要な場合は、フラッシュ設定をONにして撮影をお楽しみください。

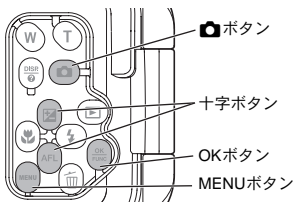
水中マクロ

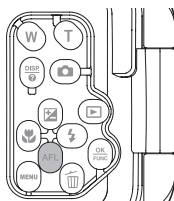
水中で魚などの生物に近接して撮るのに最適です。水中の自然な色を再現して撮影します。

> ⚠ **注意**：
> マクロ撮影時はワイド側でフラッシュ光がけられたり光量むらが発生することがあります。
> 水中撮影では、水による光の減衰の影響や撮影時の条件（水中での透明度や浮遊物の有無など）でフラッシュ光到達距離が極端に短くなる場合があります。
> 撮影後は液晶モニタで再生して確認してください。

撮影シーンの選択方法

① [camera icon] ボタンを押して、カメラの撮影モードを「SCN」にする。
② 十字ボタン上下を押して「水中ワイド1」、「水中ワイド2」または「水中マクロ」を選ぶ。
③ OKボタンを押す。

水中モード使用中に別の撮影シーンを選ぶには

① MENUボタンを押す。
② 十字ボタン下を押して液晶画面上の撮影モード切換のアイコンを選んでOKボタンを押す。
③ **SCN**を選んでOKボタンを押す。
④ 十字ボタン上下を押して撮影シーンを選ぶ。
⑤ OKボタンを押す。

水中撮影シーン時の AF ロックについて

「水中ワイド1」および「水中マクロ」で撮影しているときに十字ボタン下(AFLボタン)を押すと、ピント位置を簡単に固定することができます。(AFロック)
ピントが固定されると、AFロックマーク(AFL)がカメラの液晶モニタ右上に表示されます。
AFロックを解除したいときは、シャッターレバーを押す前にもう一度十字ボタン下(AFLボタン)を押します。

水中ワイド1または水中マクロ時はAF ロックボタンとして利用できます。

5. 撮影終了後の取り扱い方法

水滴を拭き取りましょう

水中撮影終了後、陸または船に上がったら真水で海水を軽く洗い流し、プロテクターに付いている水滴を拭き取ります。プロテクターの前蓋・後蓋のすきま、シャッターレバー、パームグリップ、開閉ダイヤルに付いている水滴などを繊維くずの出ない柔らかい布やエアーを使って丹念に除去します。

⚠ **注意**：
プロテクターの前蓋と後蓋の間に水滴が残っていると、プロテクターを開けた際にその水滴がプロテクター内にこぼれるおそれがあります。特に念入りに水滴を除去してください。

デジタルカメラを取り出します

プロテクターを注意して開き、装填されているデジタルカメラを取り出します。

⚠ **注意**：
- プロテクターを開ける際、髪の毛や身体から落ちる水滴をプロテクター内部やカメラに落とさないように十分ご注意ください。
- プロテクターを開ける際、手や手袋に砂・繊維くず等の異物がついていないことを確かめてください。
- 水しぶきや砂のかかる恐れのある場所ではプロテクターの開閉をしないでください。
- 海水のついた手でデジタルカメラや電池に触れないよう注意してください。

プロテクターを真水で洗います

使用後のプロテクターは空のまま再度密閉して、できるだけ早く真水で十分に洗います。海水で使用した場合は、塩分を落とすために真水に一定時間（30分～1時間）浸けておくと効果的です。

⚠ **注意**：
- 部分的に高い水圧がかかると水漏れするおそれがあります。プロテクターを水洗いするときは装填したデジタルカメラを取り出してから行ってください。
- 本製品のシャッターボタンや各種ボタンを真水中で操作してシャフトに着いた塩分を洗い落としてください。分解しての清掃は決してしないでください。
- 塩分が付着したまま乾燥させた場合、機能に支障を来たすおそれがあります。使用後は必ず塩分を洗い落としてください。

プロテクターを乾燥させます

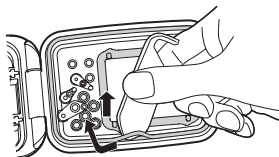
真水洗い後塩分のついていない、繊維くずの出ない乾いた柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。

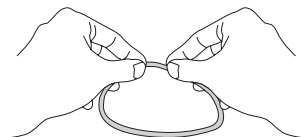
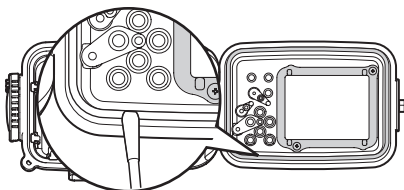
⚠ **注意**：
- 乾燥させるためにヘアードライヤーなど温熱風を使用したり、直射日光に当てることはしないでください。プロテクターの劣化・変形やＯリングの劣化を早め水漏れの原因になります。
- プロテクターを拭く際は、拭き傷を付けないようご注意ください。

6. 防水機能のメンテナンスをしましょう

本製品の後蓋を一度でも開けた場合は、必ずＯリングのメンテナンスを実施しましょう。
手をきれいに洗って乾かしてから、砂やほこりのない場所で行ってください。

Ｏリングを取りはずします

① ＯリングとＯリング溝の壁の間にＯリングリムーバーを差込みます。
② 差込んだＯリングリムーバーの先端をＯリングの下にくぐらせるようにします。
（Ｏリングリムーバーの先端で溝を傷付けないよう注意してください）
③ 浮き上がったＯリングを指先でつまんでプロテクターからはずしてください。

砂・ゴミなどを取り除きます

目視でＯリングについたゴミを取り除いた後、Ｏリングを指でつまんで全周を軽くしごくと、砂などの異物の付着や傷・ヒビ割れの有無が確認できます。

O リング溝は繊維の出にくい清潔な布、またはかすの出にくい綿棒などで付着した異物を取り除きます。プロテクター前蓋の O リング密着面も同様に付着した砂・ゴミを取り除きます。

⚠ **注意**：

- 本製品ご購入直後でも、実際に製品を水中でご使用になる前に必ず、防水機能のメンテナンスを実施してください。
- O リングを取りはずす時や溝内部をクリーニングする時に先端の鋭利なものを使用すると、O リングやプロテクターに傷を付けて水漏れの原因となることがあります。
- O リングを引き伸ばさないように注意してください。
- O リングを洗浄する際には、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、または化学洗剤の使用は絶対に避けてください。これらの薬品を使用すると、O リングに損傷を与えたり、劣化を早めるおそれがあります。

O リングへのグリス塗布方法

1	専用グリスをつけます。		指やOリングにゴミの付着がないことを確認し、専用のグリスを指に5ミリ程度取り出します。(グリスの量は5ミリ程度が適切)
2	グリスを全体に伸ばします。		指にとったグリスを3本の指で挟むように全体に伸ばしていきます。力を入れてOリングを引っ張らないように注意してください。
3	傷や凹凸がないかチェックします。		全体になじんだグリスを確認して、手の感触と目で傷や凹凸がないかチェックしてください。傷があったら新品のOリングに必ず交換してください。
4	圧着面にグリスを塗ります。		指に残ったグリスはプロテクターの圧着面の清掃とグリスアップに使用します。

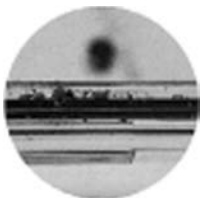
⚠ **注意**:

- 水中撮影ごとにプロテクターを開けた場合は防水機能のメンテナンスを必ず実施してください。防水機能のメンテナンスを怠ると水漏れの原因となります。
- 長期間使用しない場合は、Oリングの変形を避けるためにOリングを溝からはずしてシリコングリスを薄く塗り、清潔なポリ袋などに入れて保管してください。

O リングを取り付けます

異物の無いことを確認後、Oリングに薄く付属のグリスを塗り、溝にOリングをはめ込みます。この時、溝からOリングのはみ出しが無いことを確認します。

- 本製品を密閉する際にはOリングだけではなくその接触面(前蓋側)にも髪の毛、繊維くず、砂粒等の異物がついていないことを確認してください。たとえ髪の毛一本、砂粒一粒が挟まっても水漏れの原因となります。特に念入りに確認してください。

Oリングへの異物付着の一例

髪の毛　　繊維屑　　砂粒

消耗品は取り替えます

- Oリングは消耗品です。プロテクターの使用回数にかかわらず、少なくとも1年以内に新品と交換されることをおすすめします。
- 使用状況、保管状況によってはOリングの劣化が速まります。傷・ヒビ割れが入っていたり弾力が低下していたら1年未満でも交換してください。

⚠ **注意**：
- 消耗品のシリコングリス、シリカゲル、本体用Oリングはオリンパス純正品をお使いください。
- 操作ボタン部のOリングはお客様による交換はできません。
- 定期的な点検をおすすめします。

7. 付録

仕様

対象カメラ	オリンパスデジタルカメラ FE-3010/X-895
許容水深	水深40m以内
主要材質	本体/開閉ダイヤル/グリップ/シャッターボタン/各操作ボタン：ポリカーボネート樹脂 レンズ窓：光学ガラス 各操作ボタン軸：ステンレススチール
レンズリング径	φ46mm
サイズ	幅139.5mm×高さ99mm×厚さ78mm
質量	305g（カメラ、付属品含まず）

※ 外観・仕様は改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PT-046用 付属品

Oリング：POL-041
シリカゲル：SILCA-5S
シリコングリス：PSOLG-2
レンズキャップ：PRLC-11

その他別売品

シリコングリス：PSOLG-1、PSOLG-3
バランスウェイト：PWT-030

付属品は販売しております。
上記型番以外の製品は使用できません。

OLYMPUS®

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。